

健康だより

あなたは 大腸がん検診を受けていますか？



JA尾道総合病院 健康管理センター
保健師 亀田 美香

近年、大腸がんは罹患する人（かかる人）が増加しており、中でも大腸がんは、がんによる死亡の中で男性2位、女性では1位となっています。増加の原因には、食生活の欧米化や運動量の減少、肥満やアルコール摂取、喫煙が大きく関わっています。自治体で推奨している大腸がん検診（便潜血検査）は、「死亡率を減少させることが科学的に証明された」がん検診です。早期発見・治療で大切な命を守るために、40歳以上の方は毎年定期的に検診し、「便潜血陽性」という結果を受け取ったら必ず精密検査を受けるようにしましょう。

大腸がん検診の第1歩は、簡単です。

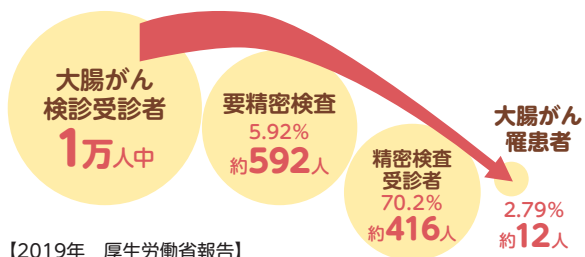
2日分の便の表面を、採便棒でこすり取ります。



便潜血陽性=大腸がん！というわけではありません。

便潜血検査で陽性ということは「大腸がんの可能性がある」という意味で、精密検査を受けてはじめて大腸がんと診断されます。しかし、精密検査で実際に大腸がんと診断される人はそれほど多くありません。

大腸がん精密検査を受ける必要のある人、 がんが見つかる人の割合



[2019年 厚生労働省報告]

検診は、受けた後も大切です。

大腸がんは、発見が遅れると肝臓、肺、脳へと転移していきます。早期発見のためにも、40歳以上の方は、毎年定期的に大腸がん検診を受けましょう。

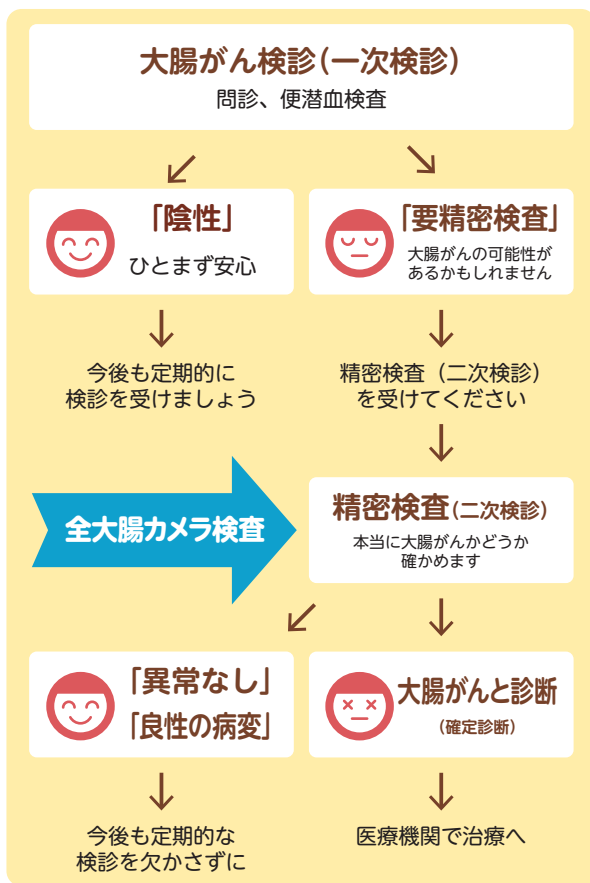
大腸がん検診の費用

尾道市のがん検診では、500円程度の自己負担で受けることができます。JA尾道総合病院の実施する人間ドックや、巡回健診、協会けんぽの生活習慣病予防健診では、受診項目に含まれています。

【問い合わせ先】 JA尾道総合病院 健康管理センター
☎0848-22-8111 13時～16時



大腸がん検診の流れ



筆者も精密検査(大腸カメラ)を受けました。

前日は食事の制約と寝る前に下剤の内服があり、当日は朝から液体の下剤を内服します。(この液体の下剤の量が多くて、少々しんどいです)腸の中が空っぽになったところで、検査開始です。検査自体は、鎮静剤の使用を希望しましたので、眠っている間に終わりました。結果は「異常なし」。これを確認するために、受診する価値があります。筆者の周囲には、この精密検査で早期の大腸がんが見つかった方が複数います。「痔があるから…」とか、「忙しいから…」と精密検査を先延ばしすることなく、便潜血陽性の場合は、大腸カメラまで受診する必要があると、感じています。